

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公開番号】特開2012-75369(P2012-75369A)

【公開日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2010-222131(P2010-222131)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月2日 (2012.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

XlnR/Ace2結合配列 (ggctaa) 及びHap複合体結合配列 (ccaat) が 0 ~ 1 0 0 のスペーサー配列を介して配置した領域を有するシス作用エレメントを所望の遺伝子におけるプロモーター領域の上流に組み入れた形質転換体を、草本類を原料とした培地、木質類を原料とした培地及び農作物残査又は廃棄物を原料とした培地から選ばれる少なくとも 1 つの培地にて培養し、培養後の培地及び/又は形質転換体内より目的物質を回収する、物質の製造方法。

【請求項 2】

上記形質転換体は、XlnR/Ace2結合配列 (ggctaa) 及びHap複合体結合配列 (ccaat) が 0 ~ 1 0 0 のスペーサー配列を介して配置した領域を、リンカー配列を介して複数繰り返したシス作用エレメントを有するものであることを特徴とする請求項 1 記載の物質の製造方法。

【請求項 3】

上記領域の繰り返し数が 1 ~ 5 0 個であることを特徴とする請求項 2 記載の物質の製造方法。

【請求項 4】

上記形質転換体は上記所望の遺伝子が外来性の遺伝子を含むことを特徴とする請求項 1 記載の物質の製造方法。

【請求項 5】

上記形質転換体は糸状菌を宿主細胞とすることを特徴とする請求項 1 記載の物質の製造方法。

【請求項 6】

上記目的物質は、上記シス作用エレメントにより発現亢進される遺伝子によりコードされるタンパク質であることを特徴とする請求項 1 記載の物質の製造方法。